

はじめに

ライフスタイルの多様化や少子高齢化が近年進む中、本市の公共施設を取り巻く環境は、時代とともに大きく変化しています。

本市では、こうした変化に対応するため、学識経験者や公募の委員で構成した「稲沢市公共施設のあり方検討委員会」を平成 23 年 8 月に立ち上げ、施設の効果的な配置と効率的な運営方法に関する検討審議を集中的に行っています。

「稲沢市のこれからの公共施設のあり方に関する市民意識調査」は、市の公共施設に対する市民の皆様のニーズと意識を調査し、これからの施策に生かしていくことを目的として、同年 12 月に実施したものです。

アンケート調査には、無作為に抽出された 1,420 人の市民のかたからご回答いただき、回答者の属性別に様々な角度から分析を行っております。調査の結果といただきましたご意見につきましては、今後の委員会での議論に取り入れていくとともに、公共施設の見直しに活用してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、今後とも稲沢市の発展のためにますますのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この調査にご協力いただきました市民の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成 24 年 3 月

稲沢市長 大野 紀明

目次

はじめに	1
1 調査の概要	3
2 回答者の構成	4
3 調査結果	
(1) 稲沢市のこれからのまちづくり	6
(2) 市の公共施設のあり方	11
① 支所・市民センター	11
② 生涯学習施設	18
③ 保育園	22
④ 小学校	26
⑤ 図書館	30
⑥ 美術館	34
⑦ 体育館	39
⑧ プール	46
(3) 有料施設の利用料金	51
(4) 民間事業者との連携	53
(5) さわやか隊	54
4 自由意見	57
(1) 分類及び件数	57
(2) 公共施設について	58
(3) 市政一般について	82

参考資料

- アンケート用紙
- 稲沢市の公共施設の“いま”

